



Iwate Association of Occupational Therapists

岩手県作業療法士会ニュース

不来方

No.37

2026年
3月31日発行



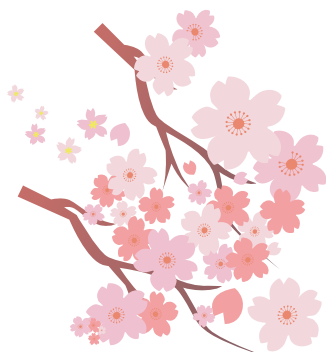
目次

contents

巻頭言「より効果的で効率的な作業療法の視点」	2
第37回岩手県作業療法学会 御礼	3
第37回岩手県作業療法学会 学会賞・学会奨励賞受賞者からのコメント	4
【地域局】インタビュー企画：支部長さんってどんな人？インタビューで深掘り！	5～7
【自動車運転と移動支援特設委員会】令和7年度自動車運転と移動支援研修会	8
【学術教育局】急性期リハ情報交換会	9
【OT助成金事業】作業に根差した実践と作業療法における目標設定研修会	10
【地域局】支部コラムの紹介	11～12
2025年度 期待の新人	13
*介護老人保健施設 はやちねの里 種市 琴音さん	
*介護老人保健施設 ほほえみの里 澁谷 雪乃さん	
【広報局】【地域局】お知らせ	14～15
不来方の徒然ならぬ雑記帳～車椅子仕様車、買いました(その2)～	16

巻頭言

より効果的で効率的な作業療法の視点



一般社団法人岩手県作業療法士会会長

東八幡平病院
藤原 瀬津雄

会員の皆様におかれましては日頃より県士会活動にご尽力とご協力を賜り感謝申し上げます。さて、超高齢社会への対応である地域包括ケアシステム構築の目途としてきた2025年が終わり、地域包括ケアシステムは構築から深化へ移行し、2040年問題とされる人口減少社会への対応が始まっています。

そのような中、2月27日の衆議院予算委員会の中で高市早苗内閣総理大臣から、日本のみならずアジア各国の高齢化を見据え、質の高い日本のリハビリテーションを「国の強み」と認識した『リハビリテーションの国家戦略化』が表明されました。(https://1post.jp/8257)

臨床現場で働く会員の皆様にとっては「何か雲の上の事…?」のように感じるかもしれませんが、地域包括ケアシステムの深化、人口減少社会への対応(働き手の減少、支える側の人材不足)と合わせて考えると、臨床現場でこそ検討しなくてはいけない点が浮かび上がります。それは「より効果的でより効率的な作業療法」という視点です。極端な話となりますが、疾患別リハビリテーションであれば今まで3単位/1日を出していた以上の結果を2単位/1日を出すにはどうするか?とか、介護予防事業であれば1回/週で出していた以上の結果を1回/月で出すにはどうするか?等、一人の作業療法士がより多くの対象者により効果的な作業療法を届けるにはどうするかを考えていく必要があります。

現にすでに人材不足が進み始めている介護現場では同様の意味を持つ「生産性向上」というキーワードが多く使われ始めています。今後リハビリテーションの現場においても「業務の見直し」を含め「テクノロジーの活用」、「タスクシフト、タスクシェア」が進められてくるものと考えます。特に「業務の見直し」や「テクノロジーの活用」の側面では、ソフトやアプリの開発、そしてその産業化に至る一連の流れの中で臨床と研究機関そして産業分野が共同していく場面が増えてくるものと考えられます。臨床にいる作業療法士一人一人が、こうあれば今よりも効果的な作業療法が提供できる、このようなツールを使えば(ツールがあれば)効率的な作業療法が提供できるという視点を持ち、そのアイデアを実践、発信していくことが必要と考えます。

終わりに、「効果的・効率的な作業療法」を考えていく際、「卒後教育による作業療法士の質の担保」は必須の事項と考えます。士会広報や支部会議等で都度皆様にお伝えしている生涯学習制度の「登録作業療法士」への要件(読み替え含む)を満たさなくてはならない時期が来年の3月31日までと残り1年となりました。読み替え対象の会員、生涯教育制度途中の会員の皆様におかれましては、令和8年度内に要件を満たしていただき「登録作業療法士」取得を行うよう、また昨年度入会の会員の皆様におかれましては引き続き生涯学習制度に取り組んでいただき、まずは「登録作業療法士」を目指していただければ幸いです。

第37回岩手県作業療法学会 御礼

社会福祉法人恩賜財団済生会 岩手県済生会

北上済生会病院
芳賀 毅実



はじめに、昨年10月26日に開催されました、第37回岩手県作業療法学会「生活と医療の未来～自動化する社会と作業療法を考える～」に足を運んでいただき誠にありがとうございました。謹んで御礼申し上げます。

また、学術発表をして頂いた先生方をはじめ、事務局および協力員の先生方のおかげをもちまして、無事に学会を開催し、運営することが出来ました。重ねて御礼を申し上げます。

近年の作業療法を取り巻く環境は、非常に流動的となっており、それぞれの県士会員が求めている知識や情報において多様化しています。学会を開催するにあたり、どのようなテーマで進めていけば良いか悩んだ場面も多々ありましたが、一般の方を含めて164名の参加を賜ることができ、同じ時と場所と情報を共有することの楽しさを、私自身感じる事が出来ました。

この度は、MONET Technologies株式会社の川鍋様を講師に招き「モビリティを活用した地域医療への貢献」と題しまして、医療MaaSの導入例や地域支援の取り組みについてお話を頂きました。皆様の闊達な質問や意見交換の場を設けることが出来、充実した内容の講演となりました。医療MaaSにおいても作業療法との相性が良いと講師の先生からもお話を頂き、引き続き継続的な協議を行い、サービスの提供の可能性などを話し合っていく予定となりました。今後は主に学術局を通しての話し合いとなりますが、ご興味がある先生がおりましたらご一報いただければ幸いです。

また、「クライアントが語る。リハビリテーションを受けての本音」では3人の患者様にお話を頂きました。参加者の先生方を含め、いわてリハビリテーション学院の学生さんにとっても、作業療法士として未来の明るいお話であったと思います。特に「経験年数や人ではなく、患者さんを良くしたいという、思いは絶対に伝わります。」と仰って頂いた際には、胸が熱くなり、本当に作業療法士で良かったと、この仕事をして良かったと感慨深いものがありました。

ハイブリット開催でしたが、やはり同じ場所、時間を共有することで、得ることが出来るものは大いに有ると思います。ぜひ、学会や研修会などの企画に賛同し参加・協力して頂けたらと思います。

最後になりますが、次回は千田支部長が学会長となり、胆江・両磐支部での合同開催となります。是非、足を運んでいただき、同じ場所で知識の共有をできればと思います。

引き続き、岩手県作業療法士会の活動を通し、会員の皆様とお会いできることを楽しみにしております。



学会長賞・学会奨励賞受賞者の紹介

学会長賞

第37回 岩手県作業療法学会 学会長賞を受賞して

内丸病院訪問看護ステーション
認定作業療法士 大久保 美也子



このたび、第37回岩手県作業療法学会において学会長賞を受け賜りました。

「新鮮な野菜を買いに行きたい」ニーズを支援した訪問作業療法～末期がん60代女性が3年ぶりに自転車運転を再開した事例という演題で発表をさせて頂きました。末期がんを患っても、力強く生きることに向き合う対象者と共に大きな課題に挑戦してきました。その積み重ねが、このような栄誉ある賞につながったことに深く感謝しております。

今回の発表を通して、作業療法の時間は対象者の「いのちの時間」を共有するかけがえのない時間であること、その大切な時間と真摯に向き合っていることを、改めて実感する機会となりました。そして発表後、がんの作業療法、訪問作業療法の意義、移動の代替え手段の検討など、さまざまな視点から多くのご質問やご意見をいただきました。その反響の大きさに驚くとともに、発表の機会を通して、多くの学びと気づきを得ることができました。

学会発表は、準備に多くの時間と労力を要し、少なからず勇気も必要です。しかし、発表することは自分自身の実践を形にするだけでなく、対象者の努力や挑戦を記録として残す大切な営みでもあると感じています。僭越ではございますが、本発表がどなたかの実践のヒントとなり、今後の作業療法につながっていくことを願っております。その思いを胸に、私自身も作業療法士としてさらに研鑽を重ね、歩みを進めてまいります。

最後に、芳賀学会長をはじめ、運営・実行に携わられた皆様に心より敬意と感謝を申し上げます。

学会奨励賞

いわてリハビリテーションセンター
渡部 祐介



このたび、岩手県作業療法学会において奨励賞をいただき、大変光栄に思っております。今回の発表は、「令和7年大船渡市林野火災に伴ういわてJRATの活動報告」と題し、災害リハビリテーション支援における作業療法士の関わりについて報告しました。

私自身、東日本大震災、岩泉町台風災害、能登半島地震に続いての災害支援となりましたが、共通して感じたのは、在宅という環境では何とか自立した生活を送っていた高齢者や障がいのある方が、避難所という大きな環境変化に適應できず、心身の不調や活動量の低下、転倒などを引き起こしてしまう現実でした。災害支援においては、「生活を整える」「役割を取り戻す」という作業療法の視点が極めて重要であることを、あらためて実感しました。

いわてJRATの活動は、数名の多職種チームで行動する体制が整っており、災害支援が初めての方でも過度な不安を感じる必要はなく、日常業務で培ってきた作業療法の知識や関わりが、そのまま現地で活かされます。より多くの作業療法士の皆さまに、いわてJRAT隊員としてともに活動していただければと願っております。

今回の受賞を励みに、今後も災害リハビリテーションの発展に尽力していきたいと考えています。

インタビュー企画

支部長さんってどんな人? インタビューで深掘り!



日頃より、各支部をまとめてくれている支部長さんを
インタビュー形式でご紹介したいと思います。

こんなことをインタビューしました!



- ①氏名 ②所属施設(勤務先)
- ③地域や支部内での課題 ④支部で取り組んでいること、取り組んでいきたいこと
- ⑤地域のここが好き!おすすめ!(食べ物、観光名所など) ⑥私の特技、自慢できること
- ⑦支部会員の皆様へ一言



二戸支部

①木附沢 一茂(きづきざわ かずしげ)

②麗沢会 介護老人保健施設 湯の里にのへ

③地域範囲が広い割に病院・施設数が少なく、各職場との距離が離れているため、対面で顔を合わせにくい。一人職場の会員が多く、県士会活動への参加が難しい会員もいる。④広報誌のようなものを作成し、研修会等で学べたことや情報を支部会員内で共有できる仕組みを作りたい。⑤座敷童伝説残の金田一温泉素朴な郷土料理の数々(ひつつみ、きんか餅、みそ餅、てんぼ、へちよこ団子、ところetc…)、世界遺産「御所野跡」

⑥お酒が好きなところ。おつまみ作りが得意です。⑦支部長としてはまだ2年目ですが、二戸支部が少しずつでもまとまりを持てるよう活動していきたいと思っています。よろしくお願いたします。



久慈支部

①後藤 明(ごとう あきら)

②北リアス病院

③大自然に囲まれすぎて盛岡が遠い・近隣市町村の動向や施設状況が把握しきれていない・何かやる時の起爆剤になってくれる人材不足。④個々の施設におけるテーマに沿った取り組みは継続中(障がい者スポーツ支援、100歳体操等)、支部全体で取り組める何かをしたいが…未定。⑤太平洋を一望できる小袖海岸、春のわかめと山菜、夏のウニ、秋のマツタケ、冬の鱈⑥特技:弦楽器(久慈市のマンドリンサークルのギターと、地元パンクロックバンドのベースを担当しております) / 自慢できること:昔はラーメン食べ歩きで5杯食べられました。(現在、加齢に伴い3杯が限界かと…) ※健康診断の結果は自慢できません! ⑦一緒にできる学術的な何かを模索するのも手ではありますが…私と地域局長を繋げたものは一緒に「仕事した間柄」だけではなく、ナイター野球等のレジャーを介して親睦を深めたところもあります。そんな作業を介した交流が皆様と取れるなら幸いです。



宮古支部

①下河原 慎也(しもかわら しんや) ②宮古第一病院

③宮古市の高齢化率は約40%に達しており、特に後期高齢者の増加が顕著です。全国的に要支援・要介護認定率が増加する中、宮古市では令和元年から低下傾向にあります。この数字からも「介護予防」の重要性を痛感しておりますが、現状、行政からの派遣依頼に対してマンパワーが追いついていないという課題があります。幸いなことに、今年度は複数の病院・施設からセラピストの派遣をご快諾いただくことができました。少しでも地域の皆様の力になれるよう、今後も施設間と連携・協力していきたいと考えています。④慢性的な人手不足という厳しい面もありますが、だからこそ「顔の見える関係」を築きやすいのが宮古支部の強みです。支部会議や勉強会など、年数回の貴重な集まりを今後も大切にしていきたいと思っています。また、OT支部単体で抱え込むのではなく、PT支部や広域支援センターと職種を越えた連携もしていければと考えております。今年度は、地域医療に興味のあるセラピストが介護予防の現場を見学できる「PT・OT支部合同コラボ企画」も実施しました。この横の繋がりをさらに強化し、三位一体となって地域に関わっていければと考えております。⑤宮古名物「瓶ドン」は外せません!牛乳瓶にイクラやウニ、めかぶ、イカなどの新鮮な海の幸がぎっしり詰まった、見た目も華やかな逸品です。飲食店ごとに趣向を凝らした具材が楽しめるのも魅力だと思います。ぜひ、宮古へ「おでんせ(おいでください)」!⑥これといった特技はないのですが…「健康管理」には自信があります!あまり記憶にないのですが、ここ10年ほどは体調不良で仕事を休んだことがありません。この元気を武器に、これからも支部を盛り立てていきたいです。⑦私が壁にぶつかった時、いつもすぐに手を差し伸べてくれる宮古支部の皆さんには「感謝」の気持ちでいっぱいです。このアットホームな関係こそが私たちの宝物だと思っています。これからも助け合い・協力し合える関係を築いていきましょう。今後ともどうぞよろしくお願い致します!



盛岡支部

①一関 孝(いちのせき たかし) ②介護老人保健施設 岩鷲苑

③支部範囲が広く、施設数、会員数が多いために情報や連絡事項が会員の皆様に行き届いているのか?ということです。今年度は連絡先の整理やメールアドレスの確認などを支部内で行いましたが、今後も改善に取り組んでいきます。また、支部内の組織づくりが課題になっています。県士会の各担当とも重複しないように、支部活動に参加していただけるように働きかけていきたいです。④課題でも取り上げましたが支部内の連絡網の整備と盛岡支部の組織づくりに力を入れていきたいです。⑤盛岡市本宮にある「とんかつ熊さん」のスタミナ味噌ラーメン、上カツカレーが人気メニューですが、私のお勧めはトマトチーズとんかつ定食です。女性にもペロりと食べられるメニューですので是非食べてみてください。⑥特技と入れるほどではありませんが日曜大工です。息子の学習机を作ったり、テレビの壁掛け用のラックを作ったりしています。⑦皆さんが楽しんで支部活動に参加できるように頑張っています。よろしくお祈りします。



盛岡支部

①福島 北斗(ふくしま ほくと) ②盛岡つなぎ温泉病院

③新生涯学習制度の周知、実行が大きな流れとして重要な課題と認識しています。が、この場では盛岡・西北支部に関して見聞きして感じてきたことをお話しします。盛岡・西北支部は会員数が多いので、一見すると「安定」の様相ですが、施設数が多い上、役割が細分化される分、同じ方向を向いていくことが困難にみえます。連絡網はあまり機能せず、個人的な横のつながりに頼らざるを得ない部分も大きい状態ですから、あまりまとまりのある支部ではないと思います。しかし、時には“何か”をきっかけに団結することがあります。“何か”が強い求心力を生むことがあるわけです。たくさんの皆様に参加いただきました昨年の支部会議には“何か”があったのだと思います。まだ“何か”の正体はわかりませんが。

世に言う新時代を迎え、働き方改革もあり、職場の方針もあり、県士会活動との関わり方そのものが以前と大きく変わっていることは当然だと思います。協会、県士会の意味するところ、場合によっては価値、課題は少なくないと思います。学会の在り方や研修会の手段・形式など、既存を踏襲するだけでなく、みんな一緒に向かっていける“何か”があるといい、そう漠然と感じております。④負荷の少ない連絡手段、情報の伝達方法を模索中です。また、個人としては支部会員の皆さんの興味関心の行方、職場や県士会・OTとしての個々のスタンスも知りたいところです。そのあたりの認識のズレが解消することも“何か”に近づくのではないかと思います。⑤唐揚げの二大巨頭が決まったこと。炒飯はまだ深いこと。山海塾のビール。WEST。⑥読書、釣り、キャンプ、スキーとか、PNF、秋刀魚焼き、自転車、コスパのいいコーヒー、車の世話、買い物、Capoeira、お酒、映画鑑賞、山歩き、ミュージアムショップ巡り、炒飯探し、ポテトフライ探し、靴磨き、両生類の世話、「荒野」ジャンルのPodcastを聴くこと、などです。最近ではシラチャーソースにドはまりました。⑦実はまだ皆様の顔と名前もあまり一致しない始末ですが、西北支部の支部長であらせられます一関先輩と一緒に務めていきたいと思っています。今度の支部会議、何がいいと思いますか?



中部支部

①芳賀 毅実(はが たけみ) ②社会福祉法人恩賜財団済生会 北上済生会病院

③支部の課題に関しては各施設の人員把握と支部会議参加率の低下が問題。④中部支部では年1回支部研修を行っていました。中部支部内の福祉用具業者様のご協力のもと、退院後の設置状況や改善点、導入時の注意点など講演をお願いしておりました。我々OTがかかわる分野において、様々意見を募りつつ、年間2回を目標に進めていきたいと考えています。来年度は支部長就任時から考えていた公衆衛生に関する研修会を開きたいと考えております。⑤中部支部は北上・遠野・花巻と県内で有数の観光名所が集まる場所です。私としましては、東和町にある丹内山神社や花巻温泉、遠野市の福泉寺、北上の夏油高原などぜひ足を運んで頂ければと思います。食べ物に関しては、花巻のマルカン大食堂、遠野のレストラン道のわらじカツ丼、宮守のよねたや、北上のくるまやラーメンなどがオススメです。⑥特技ではないですが、車の消耗品交換や、電装系の取り付けなど趣味で行っています。大型バイクも乗っていましたが、現在はお休み中ですので、保険の期間を見ながらリターンライダーになりたいと思っています。(妻が許せば)。⑦平素より中部支部の活動へのご協力ありがとうございます。無事に県学会も終わりひと段落しております。支部会議でも再三お話していますが、来年度より各役職者の輪番制が始まります。ぜひ引き続き支部活動へのご協力をよろしくお願い致します。



釜石支部

①材津 睦美(ざいつ むつみ)

②医療法人仁医会(財団)釜石のぞみ病院

③地域:少子化高齢化と人口減少/支部:活動の発信が不十分でどんな事をしているか伝わっていないように感じる。④活動の発信の工夫、会議や研修の開催形式の工夫。⑤海鮮、小島カフェのパンケーキ、釜石シーウェイブスのホームスタジアムがあるラグビーの町、海で海水浴や釣りが楽しめる。⑥プールでイルカみたい

に空気の輪が作れる。⑦いつもご協力ありがとうございます。これからも地域で働くOTの仲間として繋がりを

しましょう!



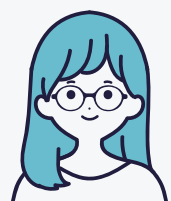
胆沢支部

①千田 恵介(ちだ けいすけ)

②老人保健施設ハイム・ベルク

③地域の課題は家族介護力が低下していること。支部内での課題は会員同士のホウレンソウの仕組み作り。

④取り組んでいることは情報収集しての支部広報を月に1回発行。取り組んでいきたいことは会員同士の気軽なホウレンソウ。⑤食べ物は奥州ポテト、金ヶ崎町にある古民家・カフェレストラン2店舗の侍屋敷大松沢家、Ecrú。観光名所は大谷翔平選手の壁紙。⑥特技は冗談を言って固い雰囲気や崩しに行くこと。自慢できることは感謝ノートを10年以上書いていること、口唇裂・口蓋裂で発音不明瞭ゆえに語彙が増えたこと。⑦皆さんの強みが活かされることで周りの方々がイキイキと過ごしていける、そんな未来を描いていきましょう。



両磐支部

①高橋 悦子(たかはし えつこ)

②岩手県立千厩病院

③支部会員さんの把握が難しい。④2/21認知症研修会ご参加ありがとうございます。来年度も支部研修会は企画したいなあと思っております。⑤金時まんぢゅう(湖月堂:一関市川崎町)。⑥なし。⑦いつも助けていただきありがとうございます。



気仙支部

①西村 宏之(にしむら ひろゆき)

②介護老人保健施設 松原苑(気仙支部)

③気仙地域は比較的狭いエリアであるため、顔の見える関係性を築きやすいという強みがありました。コロナ禍以降は支部内のOT同士の交流機会が減少し、支部活動もやや希薄になってきています。私自身も支部長に拝命したばかりですので、まずは「地域にどんな強みがあり、どんな魅力的なOTがいるのか?」というところから、情報収集していきたいと考えています。④現在は、県士会からの情報発信が主な活動となっておりますが、まだ直接お会いできていないOTの方や事業所も多くあります。令和8年度には、そうした事業所へご挨拶に伺いたいと考えています。「会議」ではなく、気軽に雑談ができるような交流の場を設け、支部活動への参加のハードルを下げたいと考えています。また、他支部の研修などにも積極的に参加し、次に支部長や役職を担う方々が、他支部の方々と繋がりがやすい環境作りにも取り組んでいきたいと考えています。⑤雪が少なく住みやすい地域です。美味しいお店もたくさんあります。「もうかの星」はぜひ一度ご賞味を(笑)。⑥最近、クレーンゲームがちょっと得意になってきました。取った景品は職場や家族にお裾分けしています。⑦令和7年度より、気仙支部の支部長を務めることになりました。まだお会いできていない方も多ですが、同じ地域で働く仲間として、これから少しずつ繋がりを深めていけたらと思います。気仙地域は高齢化率が40%を超えており、生活の困りごととはますます複雑化していきます。年齢や背景に関わらず、その人らしく生きられるよう支えることが、これからの地域づくりの中心になると考えています。そして、そのためにはOTの力が不可欠です。気仙地域には、子どもから高齢者、そして人生の最終段階にある方まで、ご本人・ご家族の想いに寄り添い、日々真剣に向き合うOTがたくさんいます。そんな皆さんと共に歩めることを心強く思っています。「人は作業をすることで元気になれる」この言葉と共に、これからも地域の暮らしの方々の生活を一緒に支えていきましょう。

自動車運転と移動支援特設委員会



令和7年度 自動車運転と移動支援研修会 開催報告

自動車運転と移動支援特設委員会
南昌病院 高橋 俊介

自動車運転をはじめとする移動手段は、その人がその人らしく、住み慣れた地域で生活し続けるために欠かせない「大切な作業」です。昨今、作業療法士が運転・移動支援の現場で対応を求められる機会は、より一層増えています。

当委員会では、県土会員の運転・移動支援に関する知識と技術の研鑽、および関連団体との連携構築を目的に、令和元年度より本研修会を継続開催しております。今年度は、当委員会が作成した自動車教習所向けの「自動車運転情報提供書(岩手県版)」の紹介、ならびに運転支援に取り組む施設からの事例報告・事例検討を柱とし、12月13日(土)に盛岡駅前のマリオスにて開催いたしました。当日は士会員31名、県内の自動車教習所指導員4名、計35名の方々にご参加いただき、職種の垣根を越えた活気ある学びの場となりました。

運転支援において、院内・施設内評価のみでは限界があり、自動車教習所との連携による実車評価が「ゴールドスタンダード」とされています。しかし、これまでの岩手県内では、実車評価に至るまでの教習所との連携構築が進んでいない圏域が多いことや、施設ごとに情報提供の形式が異なり、対応が統一されていないことが課題として挙げられていました。また、教習所職員の方々は交通法規や運転技術の専門家ですが、脳卒中等の症状(意識障害の既往、高次脳機能障害の細かな特性など)を外見から判断することは困難です。そのため、障がいを持つ方への具体的な対応方法や、実車評価の安全性確保について懸念を抱かれることも少なくないようでした。

今回の研修会で紹介した「自動車運転情報提供書」を共通のツールとして活用していただくことで、医学的なリスク管理や身体機能の把握、高次脳機能の特性に合わせた評価・指導が円滑になります。支援者双方にとってメリットが大きいものですので、ぜひご活用ください(県土会ホームページの掲示板からダウンロード可能です)。

研修会後半では、さわなり苑の小野寺大悟氏、南昌病院の千葉好華氏による事例報告に加え、盛岡友愛病院の鷹木優志氏から提示された事例をもとにグループワークを行いました。教習所指導員の方にも加わっていただき、医療的視点と実車指導の専門的視点の双方から、活発な意見交換が行われました。

研修会後のアンケートでは、「運転再開や継続が困難な場合でも、代替手段を模索しながら本人の思いに寄り添うことが大切だと感じた」「院内評価のみで安易に判断せず、実車評価や運転環境(交通量等の地域性、運転時間や範囲の制限など)を踏まえて総合的に判断する重要性を学んだ」といった声が多く寄せられました。

自動車運転と移動支援は作業療法士単独で完結するものではなく、地域の自動車教習所や運転免許センターなど、関係機関との組織的な連携が不可欠です。本研修会での繋がりや学びが、各職場における今後の支援の一助となれば幸いです。

なお、当委員会では自動車運転と移動支援に関する相談窓口を設けております。地域における代替手段の紹介や臨床での困りごとなど、お気軽にお問い合わせください。



【お問合せ先】
自動車運転と移動支援特設委員会 ▶



学 術 局



「第1回 急性期情報交換会を開催して」

学術局員 急性期部門担当

盛岡市立病院 **福田 舞耶子**

本情報交換会は、近隣急性期病院との顔の見える関係の構築を目的に開催いたしました。日頃は各施設で多忙な業務に追われる中、施設の枠を越えて率直に語り合う機会は多くありません。今回は、負担にならない程度の時間(60分)、ZOOMでの開催としました。「作業療法士としての役割」を切り口に、参加者同士の意見交換を中心とした形式で実施し、小グループに分かれて現状の課題や悩み、日々の実践における工夫などについてディスカッションを行いました。急性期に求められる専門性や多職種連携の在り方、人材育成など多岐にわたる意見が共有され、互いの状況を理解し合う貴重な機会となりました。参加者からは「有意義であった」と感想が聞かれ、本会開催の意義を感じております。今回生まれたつながりを、今後の連携強化へとつなげていきたいと考えております。まだまだ少ないつながりではありますが、今後のご参加を是非ご検討いただければと思います。

参加者からの感想

八角病院 **千葉 正毅**

1月30日にオンラインで開催された急性期情報交換会に参加しました。今回の情報交換会はグループワークを通して参加者同士の情報交換を行いました。私の所属したグループでは術前・術後のリハビリテーション介入の流れ、作業療法士の役割、職場内での教育体制等について各職場の状況について話が出ました。

他参加者の所属する病院は疾患ごとにチームを組んでリハビリテーションを実施しておりました。各疾患の理解を深めながら取り組んでおり、深い知識の必要性を感じました。老年期から急性期へ働く場が変更となって日が浅いため、分野ごとに求められるニーズの違いについても知る良い機会となりました。また、当病院でも今年度から腱板損傷や半月板損傷の手術を行っており、術後のリハビリテーションへの関わり方は参考になりました。

次回の情報交換会にも参加させていただき、急性期についてより理解を深めていければと感じました。

OT助成金事業



作業に根差した実践と 作業療法における目標設定研修会

OT助成金事業

荻野病院 阿部 大斗

今回、OT助成金事業を活用させていただき、2026年1月31日土曜日、盛岡市のマリオスにて、「作業に根差した実践と作業療法における目標設定」の研修会を開催しました。

助成金事業を活用した経緯として、私自身、入社時はコロナ禍のため、研修会は少なく、学ぶ機会や対面で語り合う場面が以前と比べて減っていると感じていました。そこで、今回の研修会をきっかけに、OT内での繋がりや研修会が増えることで、県内全体のOTの発展にも繋がると考え事業を始めました。また、私を含め若いスタッフが中心となり企画運営を行い、若い世代ならではの意見や学びたい内容を組み込むことで、若い世代でも参加しやすい研修会になり、日々の臨床での悩みの解決や相談がしやすくなると考えていました。

研修会には、岩手県と秋田県のOT計51名に参加していただきました。参加者の半数以上が経験年数1～5年目と若い世代に参加しやすい研修会となりました。

講師には、仙台青葉学院大学教授の斎藤佑樹先生をお招きし、講演とグループワークの2部構成で行いました。講演では、作業の持つ意味や形態等の作業の側面を理解し、作業を中心に捉えた実践の考え方や、対象者が実際に作業に参加することの重要性について学ぶことができました。目標設定では、不確実性の高いリハビリテーションだからこそ、対象者と目標を共有して、対象者が主体的に目標設定プロセスに参加できるように支援し、目標を「共有し続ける」ことが大切と学びました。

グループワークでは、各病院や施設、個人での目標設定に対する取り組み方や臨床での悩みを共有し、時間が足りないほど活発な話し合いが行われました。様々な領域や年齢のOT同士で意見を交わすことで、新たな気づきや実践のヒントも多く生まれました。また、「研修会が良かった」で終わらないように、講義内容を踏まえ、明日からの実践につなげるための個人目標の設定を行いました。

研修会の参加者からは、「OTらしさ楽しさが再確認できた」「自分の悩みにぴったりで明日からの臨床が楽しみです」といった感想が多く寄せられ、非常に有意義な時間となりました。

研修会後には、参加者同士16名で懇親会を行いました。職場や年齢は様々でしたが、作業療法についての熱い話から、プライベートのあんなことやこんなことまでとても大盛り上がりでした。ぜひ、写真から盛り上がっている様子をご覧ください。この時間も研修会ならではの楽しみ方だと思います。

今回、このような貴重な経験ができたことに大変感謝いたします。今後も、この経験を活かしてさらに盛り上がる研修会が開催できればと思います。



New Face

2025年度入職の期待の星

令和7年から作業療法士として活躍しているフレッシュなスタッフたちをご紹介します!

介護老人保健施設 はやちねの里 / 花巻市

01

種市 琴音 (たねいち ことね) さん

介護老人保健施設で作業療法士として勤務し、主に認知症の利用者様への支援に携わってきました。日常生活動作の維持・向上を目標に、関節可動域訓練や筋力維持訓練など身体機能面へのアプローチを行うとともに、その方らしい生活を大切にしたい関わりを心がけています。思うようにいかず悩むこともありましたが、利用者様から「ありがとう」と感謝の言葉をいただいたとき、この仕事の大きなやりがいを実感しました。

今後は身体機能と認知機能の両面から根拠を持った支援ができるよう研鑽を重ね、安心して過ごしていただける環境づくりに貢献していきたいと考えています。



02

介護老人保健施設 ほほえみの里 / 宮古市

澁谷 雪乃 (しぶや ゆきの) さん

現在私は老健ほほえみの里において、通所・入所リハビリテーションに携わり、様々な疾患や障害、生活様式が異なる多くの利用者様と関わる機会を頂いております。

日々の関わりの中で、私が大切にしている事は「その人らしさ」です。その方の生活背景や想いを理解また尊重し、寄り添う事が重要であると感じている為、一人一人その人らしさを大切にしたい関わり方を心がけています。また、先輩方のサポートの下、利用者様だけでなくご家族様や多職種の方々に関わる機会も頂き、日々多くの経験をさせて頂いております。時に、自分の課題に気付き悩むこともありますが、職場の方々温かく見守って頂き、諦めずに挑戦することができております。

これからも、先輩方をはじめ、他者から多くのことを吸収し、知識・技術だけでなく、作業療法士として大切な姿勢を学び、自分の成長に繋がられるよう努力していきたいと思っております。



広報局からのお知らせ



公式「LINE」はじまっています

LINE 公式アカウント

友だち募集中

@222myhee

岩手県作業療法士会
公式LINE
はじめました。

うれしい情報をLINEでお届け!

🔍 岩手県作業療法士会 を検索!

令和8年度
自動車運転と
移動支援合同研究会



日程: 2026年4月25日
13時~16時50分 申し込みはこちら→

18:00


- 🏠 ホームページ
- 📄 各種手続き
- 📰 広報誌
- 👥 研修会情報
- ✉️ お問い合わせ

メニュー▼

LINEのメニューをタップし活用してみよう



最新の学会情報・イベント案内を配信中。
ぜひ友だち追加をお願いします。

 @222myhee

公式「X」運用中!!!

フォローする

一般社団法人岩手県作業療法士会
@iwate_ot

📅 2023年8月からXを利用しています

1 フォロー中 38 フォロワー

📄 投稿 返信 動画 画像

一般社団法人岩手県... 2025/12/02 X
皆さん、こんにちは。
先日開催されました「第37回岩手県作業療法学会」には160名を超える多くの方にご参加いただきました。
本当にありがとうございます。
今回は奥州市! !また皆様とお会いできることを楽しみにしております。



様々な情報を配信していきます。
皆様のフォローをお願いいたします。

 @iwate_ot

こちらのQRコードからアクセスできます!



各種手続

各種申請がスマホなどで簡単に出来るようになりました。

- 異動・職場変更申請 ▶️ → 通年可能
- 氏名変更申請 ▶️ → 通年可能
- 永年会員申請 ▶️ → 申請後、次年度永年会員
[永年会員制度について PDF \(398KB\)](#)
- 休会申請 ▶️ → 2月末日メ切、次年度休会開始
- 復会申請 ▶️ → 通年可能
- 退会届 ▶️ → 通年可能

事例読み替え申請

生涯教育読み替え申請などに関するお問い合わせフォームを、2026年4月頃にホームページへ開設予定です。



お問い合わせ

ホームページお問い合わせフォームの「お問い合わせ内容」が追加になります。

- 派遣依頼について
- 事業依頼について

地域局からのお知らせ

各施設OT代表者へ

6月の総会終了後に、地域局にて各支部の動向調査の実施を予定しております。

本調査につきましては、2026年度の新入職員の方にもご回答いただきたいと考えております。

つきましては、各施設におかれまして、新入職員の方へ4月中の士会入会手続きをご案内いただきますよう、ご協力お願い申し上げます。



入会のお手続きは下記URLか右のQRコードから。

<http://iwate-ot.or.jp/admission/index.html>



不來方の～ 徒然ならぬ～ 雑記帳

広報局 機関誌企画部
訪問看護ステーションたまちゃん
藤田 淳

車椅子仕様車、買いました(その2)

前号では税制面でお話ししましたが、今回は「車載可能な車いすのサイズ」についてお話ししたいと思います。車いす仕様車ですが、実はどのサイズ・タイプの車いすも載せられるわけではありません。どの車種も載せられるサイズがある程度決まっています。ネットで調べてみると、買ってみたら車いすがオーバーサイズで載せられなかった書き込みをよく見ます。

わが愛車の場合、「車いす載せても家族が乗れる」コンセプトの車種で、中列のシートが跳ね上がらず、結果車いすの前後長が制限されています。以前父は昔懐かしい標準タイプの車いすに乗っていたのですが、前後長が長すぎてフットレストを外さないと載せられないことが分かり、車いすを変更しました。*1

車いす仕様車の購入を考えている利用者様から見せてほしいとの希望があり身長190cmの方の車いすを試しましたが、写真のように前後・上下ともオーバーサイズで全く載せられないことが分かりました。*2

実際に購入を考える方は、カタログの片隅に対応する車いすのサイズ表がありますし、試乗車や中古車も少ないのですが、実際に車いすを載せてみることをぜひお勧めします。



*1
フットレストを外して
載せてました。



*2
利用者様の車いすは
この位はみ出します。

※ご利用者様とご家族に記事及び写真掲載のご許可をいただいております

今年度発行予定の機関誌につきまして、編集上の都合により当初予定していた年3回の発行が叶わず、年2回の発行となりました。会員の皆様にはご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。来年度以降は、予定どおり年3回の発行を継続してまいりますので、引き続きご愛読のほどよろしく願い申し上げます。



普段の業務等でお忙しい中、原稿を作成・提供してくださり、本当にありがとうございます。この機関誌は会員並びに士会に関わってくださる方々に支えられて成り立っております。今後とも記事の提供にご理解ご協力を頂けるよう広報局員一同、丁寧に対応させていただきます。

岩手県作業療法士会ニュース「不來方」 年3回発行

発行所 一般社団法人岩手県作業療法士会
発行人 藤原瀬津雄
編集人 佐々木圭秀
機関誌編集担当 藤田淳/金野慶太/倉成ハル工
和田いつか/菊地香織/川向悠太

デザイン・印刷 株式会社日高見

一般社団法人 岩手県作業療法士会
<http://iwate-ot.or.jp/>

